



小谷野委員提供資料

シンポジウム資料より

公益財団法人広島県サッカー協会
サンフレッチェ広島後援会
株式会社サンフレッチェ広島

旧広島市民球場跡地
イメージパース（3万人プラン）

スタジアム外観イメージパース1



スタジアム外観イメージパース2



スタジアム外観イメージパース



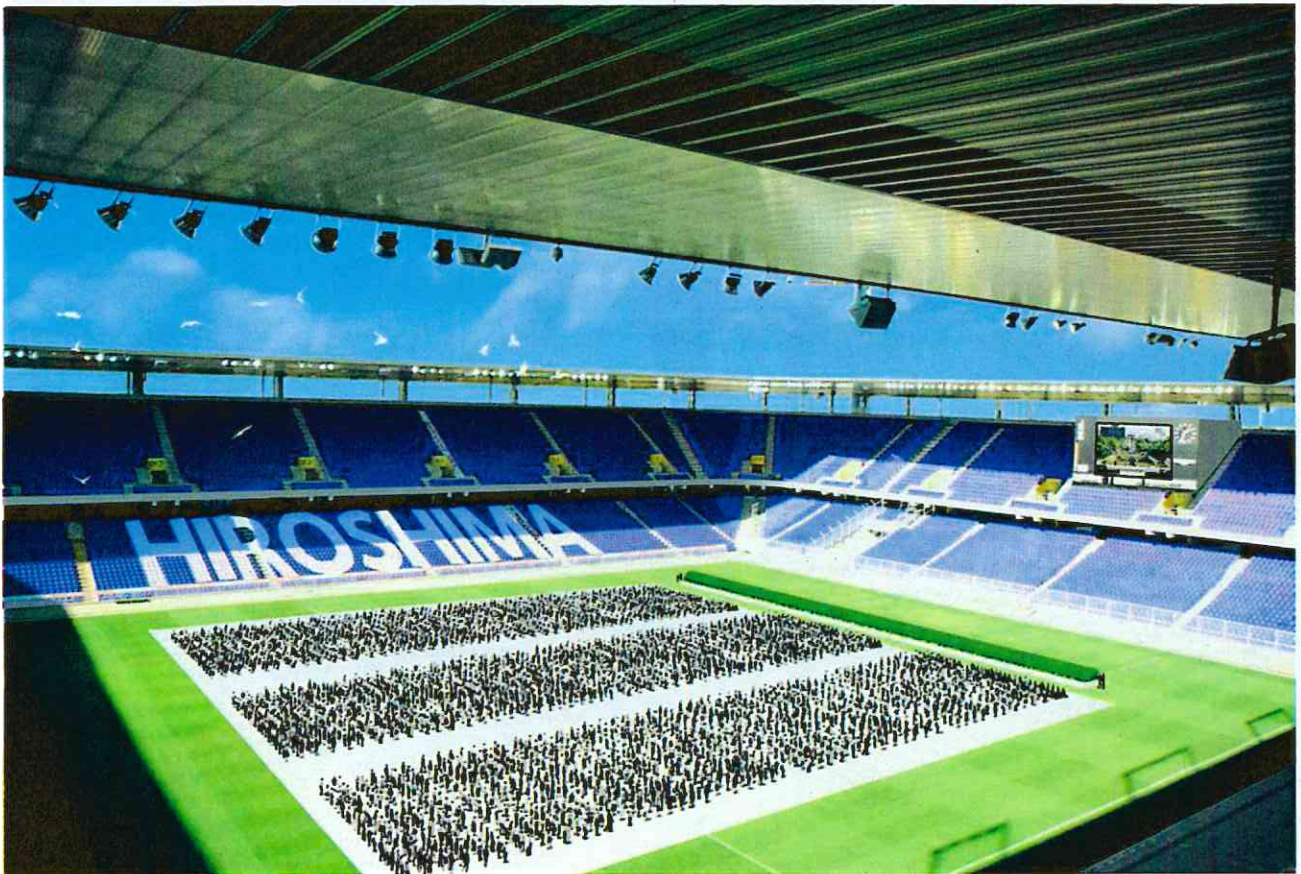
スタジアム外観イメージパース



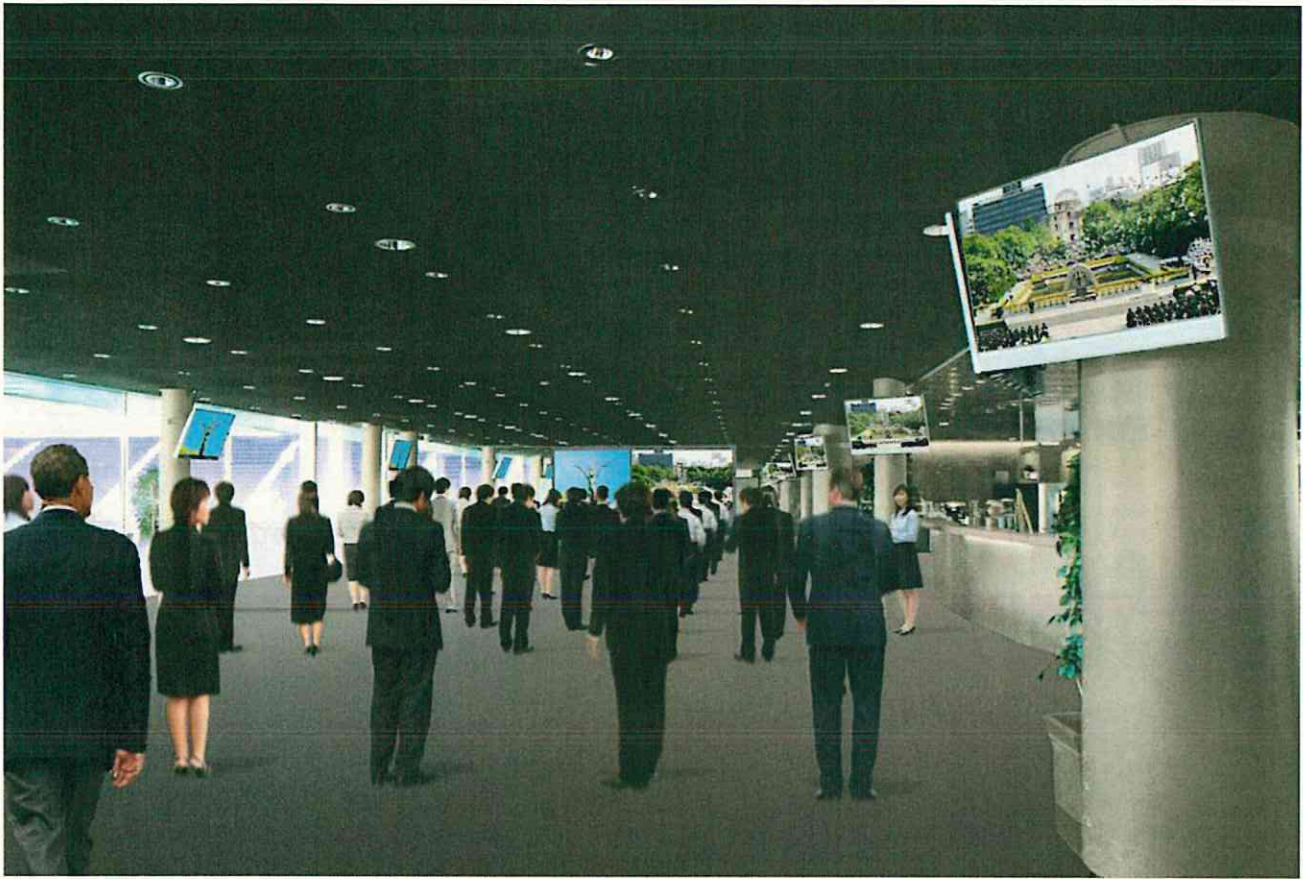
スタジアム内観イメージパース



平和の式典 イメージパース



平和の式典 VIPラウンジ イメージ



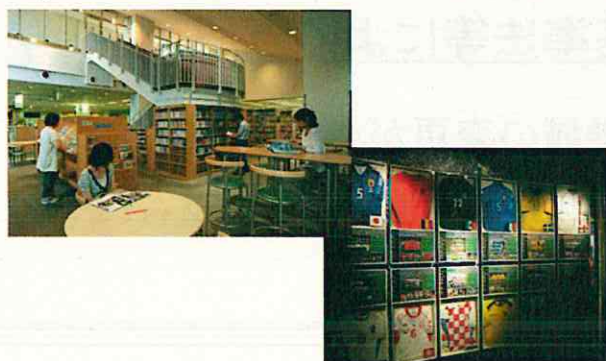
観光・交流・MICEの場として

※紫字…現行の都市計画の中で設置可能な用途



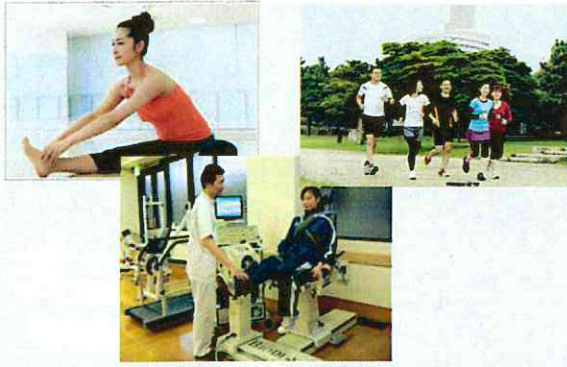
- 観光案内所
- 物産店
- コンベンションホール
- 宿泊施設
- 水族館

文化・芸術創造の場として



- 図書館
- ミュージアム
- コンサートホール

スポーツ・健康増進の場として



- アリーナ
- フィットネスクラブ
- ランナーズステーション
- リハビリ関係施設

市民サービス・その他の場として



- 市役所/区役所/郵便局等の出張所
- 子育て支援施設
- 大学, 専門学校等のサテライトキャンパス
- 貸会議室/多目的ルーム
- FM放送局
- バスセンター/観光バス駐車場
- ショッピング施設
- 事務所



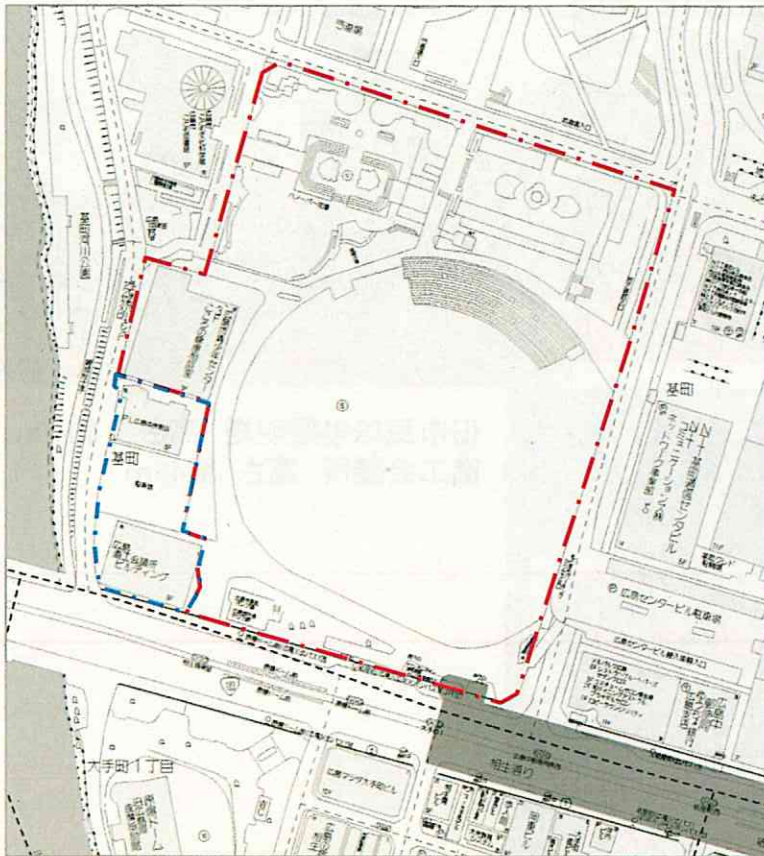
■ 法的な課題の整理

都市公園法による制限

- 用途の制限（立体公園制度等の検討が必要）
- 建築面積の制限（制限以内に収める必要がある）

都市計画法・建築基準法等による制限

- 用途の制限（用途地域の変更が必要）
- 日影規制（配置、高さの検討が必要）



検討範囲

- A 都市公園内
- B 都市公園外

都市計画による用途規制 (計画地は都市計画上「第二種住居地域」、「都市公園」)

■ 都市公園法

都市公園法 第6条

都市公園に公園施設以外の工作物その他の物件又は施設を設けて都市公園を占用しようとするときは、公園管理者の許可を得なければならない。

都市公園法施行令 第5条 (公園施設の種類)

- 1 修景施設…植栽、芝生、花壇、いけがき、日陰たな、…
- 2 休養施設…休憩所、ベンチ、野外卓、ピクニック場、キャンプ場その他…
- 3 遊戯施設…ぶらんこ、滑り台、シーソー、ジャングルジム、ラダー、砂場、徒渉池(子供用プール)、舟遊場、魚釣場、メリーゴーラウンド、遊技場電車、野外ダンス場その他…
- 4 運動施設…野球場、陸上競技場、サッカー場(専らプロサッカーチームの用に供されるものを除く)、ラグビー場、テニスコート、バスケットボール場、バレーボール場、ゴルフ場、ゲートボール場、水泳プール、温水利用型健康運動施設、ボート場、スケート場、スキー場、相撲場、弓場、乗馬場、鉄棒、吊り輪、リハビリテーション用運動施設その他…
- 5 教養施設…植物園、温室、分区園、動物園、動物舎、水族館、自然生態園、野鳥観察所、動植物の保護繁殖施設、野外劇場、野外音楽堂、図書館、陳列館、天体又は気象観測施設、体験学習施設、記念碑その他これらに類するもの/古墳、城跡、旧宅その他の遺跡
- 6 便益施設…売店、飲食店(料理店、カフェ、バー、キャバレーその他これらに類するものを除く)、簡易宿泊施設、駐車場、園内移動用施設及び便所並びに荷物預り所、時計台、水飲場、手洗い場

都市公園法施行令 第8条 (公園施設に関する制限等)

4 都市公園に宿泊施設を設ける場合においては、当該都市公園の効用を全うするため特に必要があると認められる場合のほかこれを設けてはならない。

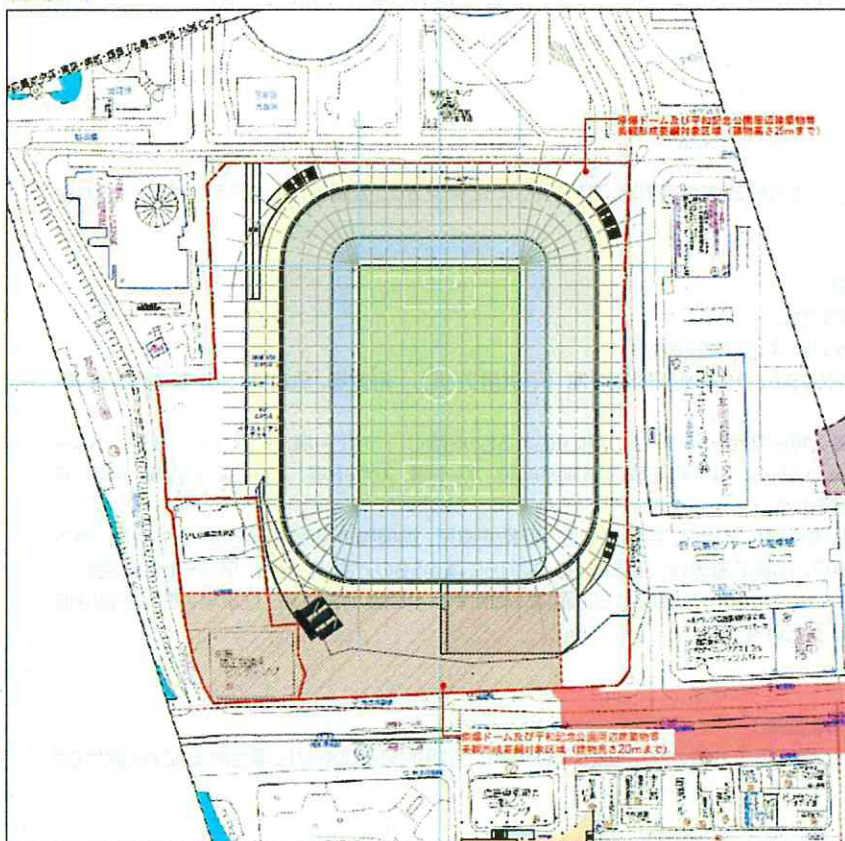


旧市民球場照明塔 高さ 約40m
 商工会議所 高さ 約46m

配置図

30,000人観客席

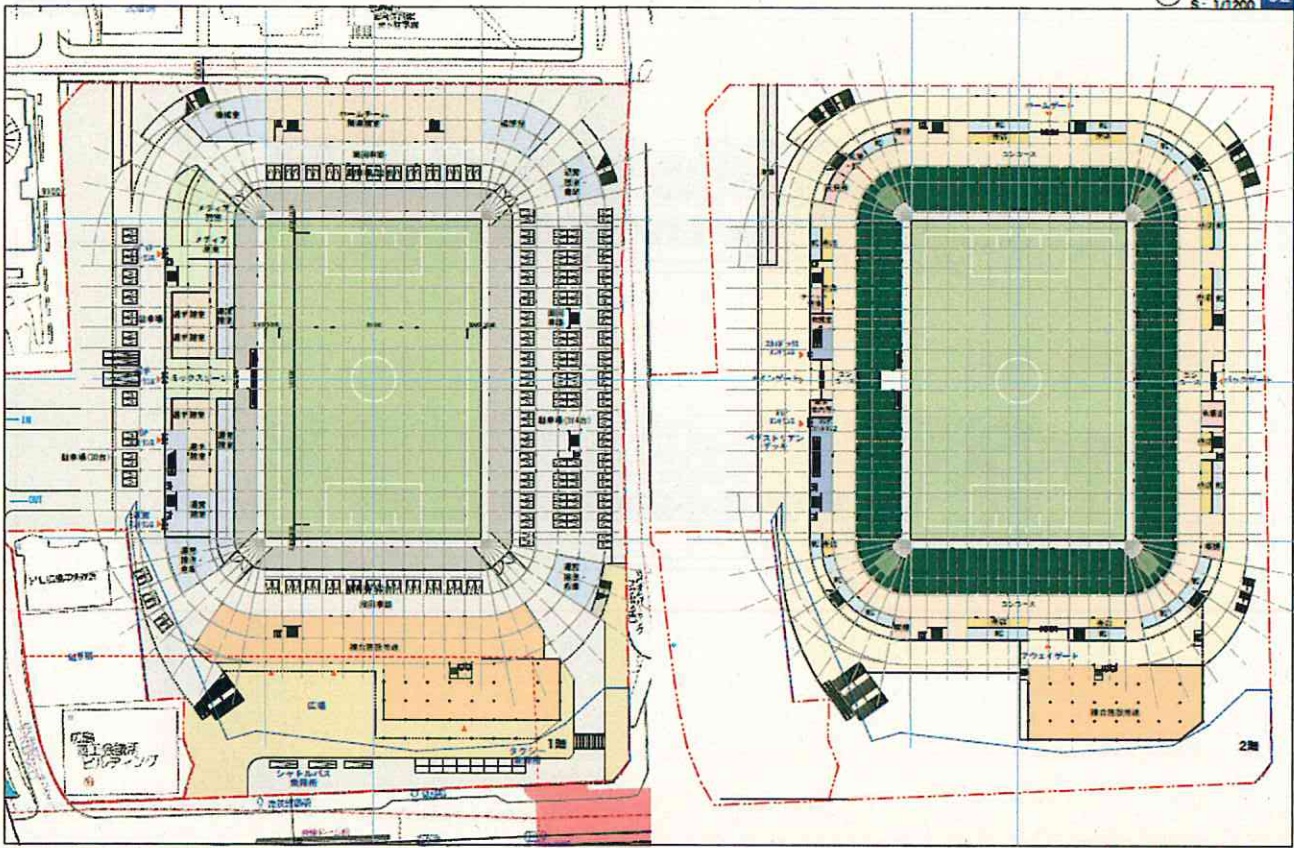
平面図 01
 S: 1/1600



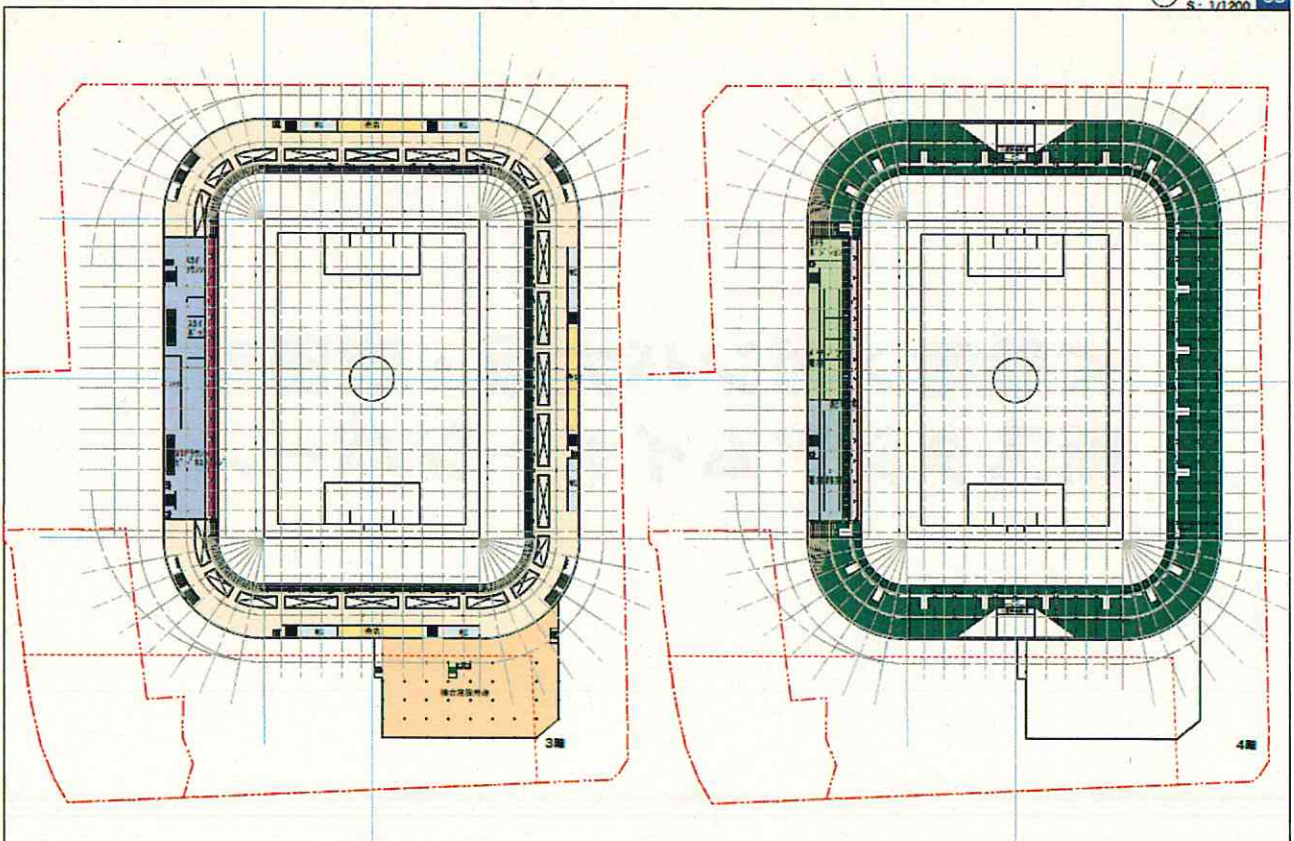
- 概要**
- 用地概要
 - ・用途地域 第二種住居地域
 - ・敷地面積 52,350㎡ (CAD測定による)
 - ・許容容積率/建築率 200%/60%
 - ・日照規制 59m/3時間 測定高さ4m
 - ・その他の指定 準防火地域/5・6・302号中央公園/駐車場整備地区/リバーフロント建築物準美観形成協議対象区域
 - 建築物概要
 - ・建築面積 27,290㎡ (緑地デッキを含む) (建築率: 52% < 60%)
 - ・床面積 59,770㎡
 - ・容積率 47,816㎡ (12,817-59,770 × 1.5 = 46,953) (容積率: 91.2% < 200%)
- | | 床面積 | 容積率 | 合計 |
|----|---------|---------|---------|
| 4階 | 8,267㎡ | | 8,267㎡ |
| 3階 | 11,306㎡ | | 11,306㎡ |
| 2階 | 17,700㎡ | | 17,700㎡ |
| 1階 | 9,680㎡ | 12,817㎡ | 22,497㎡ |
| 合計 | 46,953㎡ | 12,817㎡ | 59,770㎡ |
- ・観客席数 30,000人
 (上段席/13,336人 234席/13-VIP・E・L/308人
 下段席/16,152人 下段可動席/204人)
 - ・駐車台数 188台

※留意点
 本計画の敷地計画においての用途地域は第二種住居地域に指定されているため、
 観客席(観客席のある運動施設)・劇場・ホールは指定してはならない建築物
 として制限されている。

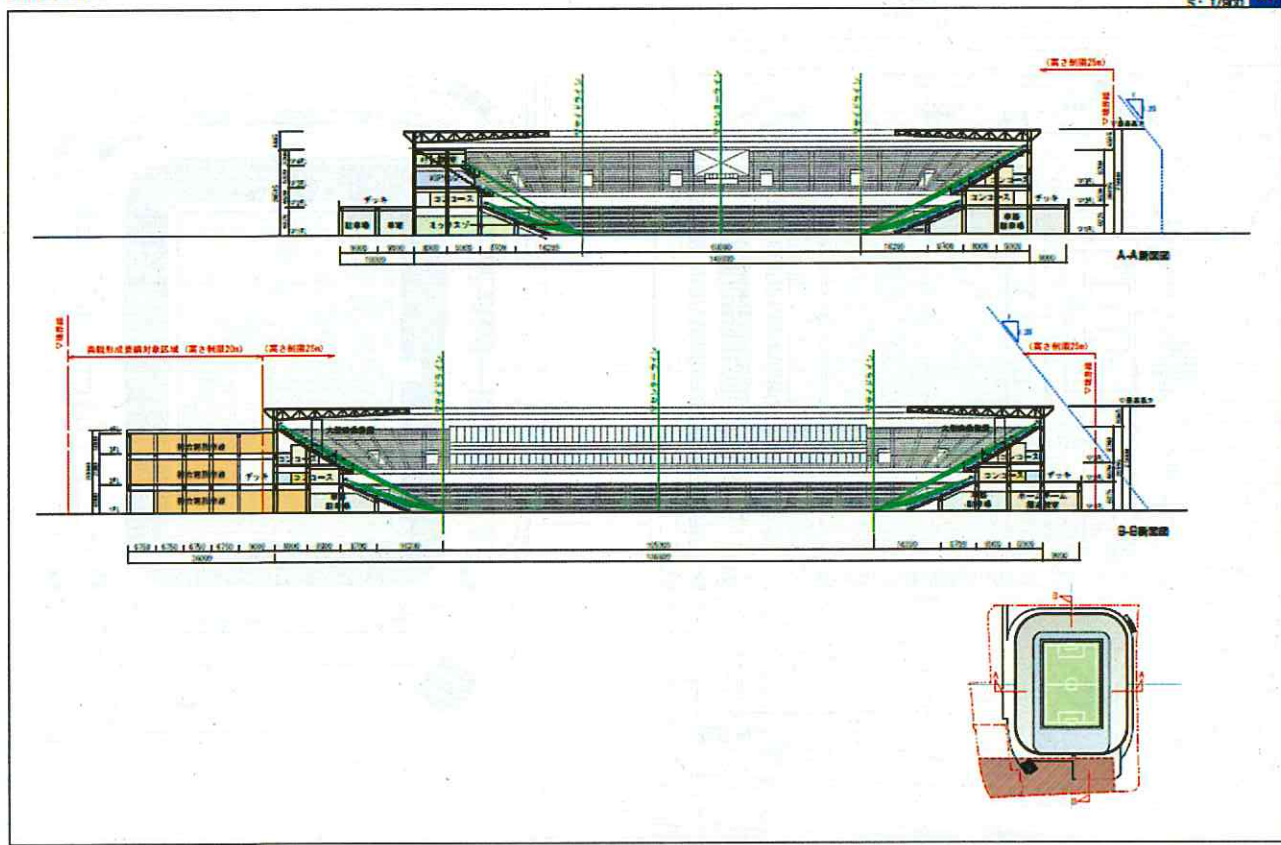
1階/2階平面図



3階/4階平面図



断面図



広島県サッカー専用スタジアム 検討案

**<参考>ガンバ大阪・吹田市
新スタジアムイメージパース**

吹田市におけるスタジアム建設について
日本初「みんなの募金」でつくるサッカースタジアム



ピッチを囲む客席の臨場感と一体感が
最高の感動を生みます



お客様をゲームに引きつけるピッチに近い観客席



ピッチを囲む一体感のある観客席



ヨーロッパテイストのVIPフロア



フラットで圧迫感のない屋根



ピッチまで最小7mの臨場感あふれるスタンド

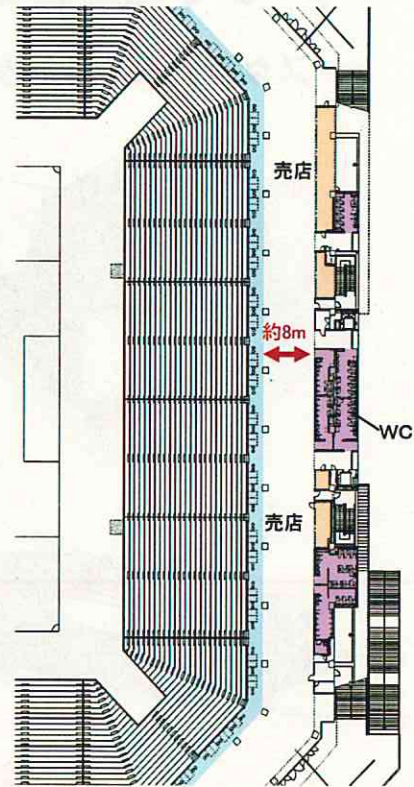


すべて客席に開かれ回遊できるコンコース



ショッピングモールのようなコンコース

3F平面図



V. スタジアムの特徴

ヨーロッパスタイルの魅力的なVIPフロア



VIP個室イメージ



VIPラウンジイメージ

V. スタジアムの特徴

クリーンな地球環境を次世代へとつなぐエコスタジアム

スタジアムでは日本初となるCASBEE Sランクを目指します



■太陽光発電



■雨水利用



■自然通風



■高効率・省エネ機器

CO₂換算削減量 358t-CO₂/年

VI. 多様な用途

自然エネルギーを活用した地域の防災拠点

- ・災害対策本部のバックアップ機能
- ・救援物資配送センター
- ・太陽光発電による電気確保
- ・生活用水の確保（飲み水、シャワー、手洗い用）
- ・災害用備蓄倉庫の設置
- ・避難所 長期:300人が1ヶ月滞在
短期:800人が10日滞在



災害対策本部イメージ写真



災害用備蓄倉庫イメージ写真



太陽光発電設置場所

試合開催日以外もにぎわいあふれるスタジアムへ



貸会議室・研修室



地域イベント



企業展示会



ウェディングパーティー

欧州の複合型サッカースタジアム機能・事例
(2014年Jリーグ視察より)



エスパニョール(スペイン)

ホームスタジアム
所有者
完成
建設費

エスタディ・コルネリャ・エル・プラット (Estadio Cornellà-El Prat)
クラブ
2009年8月2日
9,000万ユーロ (121億5,000万円) ※2009年8月 1ユーロ=135円

敷地面積

182,000㎡エリアの中の36,000㎡
スタジアムの横にシネマコンプレックス「Splau」が隣接

建設の経緯

1923年から1997年まで、1982年ワールドカップ会場にもなった
エスタディ・デ・サリアをホームスタジアムにしていたが、これを売却、
オリンピック・スタジアム(エスタディ・オリンピック・リュイス・コンパニス
=陸上競技場)を賃貸使用していた
2002年に36万ユーロ(@117円=4,212万円)で18.2haの土地を購入
エスタディ・コルネリャ・エル・プラットを新設した

施設概要

収容人数 40,500人
メトロL8 CORNELLA-RIERA駅から徒歩5分 横を高速道路が走る
VIP 271席、スカイボックス36室、4スタンドをビジネスシート1200席が囲む
記者席133席
太陽光パネル 0.5MW
The Stadium Business Awards 2010 Venue of the Year 受賞

エスタディ・コルネリャ・エル・プラット 40,500人収容



どこから見ても見やすい

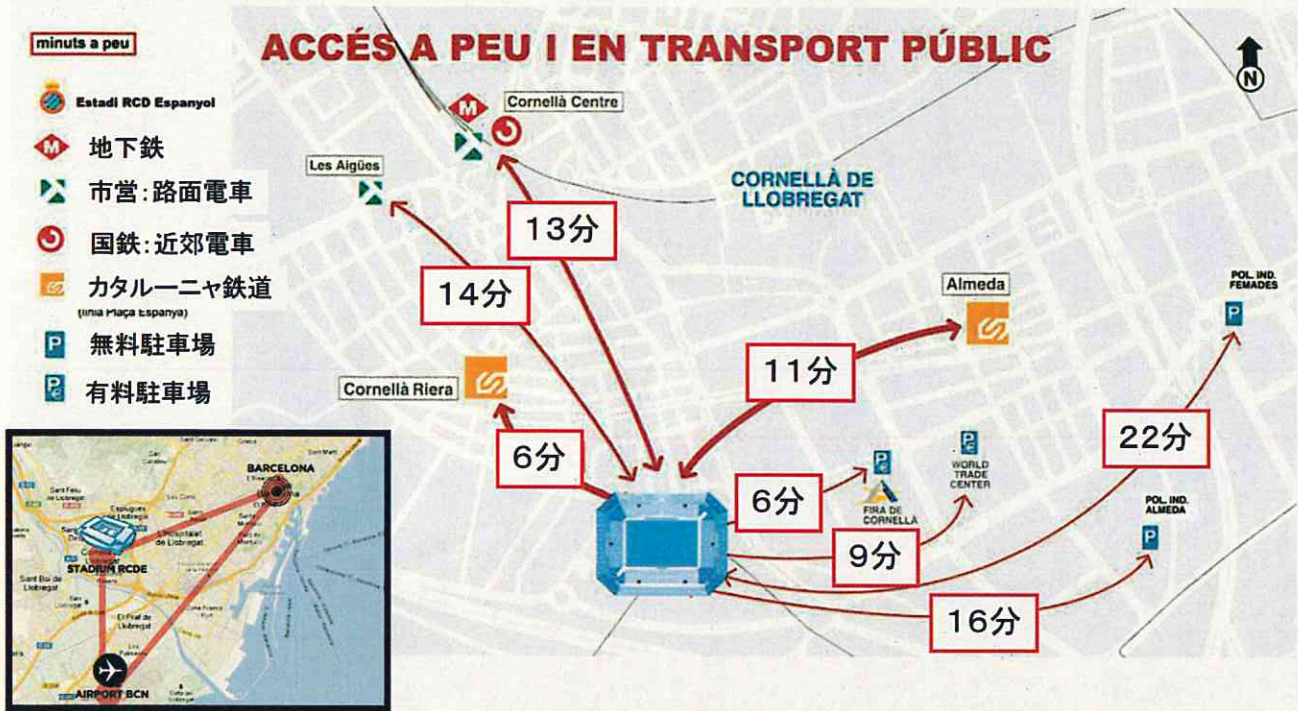
屋根がスタジアム全体を覆っているので歓声が降り注ぎ、相手チーム
に対してプレッシャーをかけることができる

様々なイベントに使用するため、シンプルで使い易く

交通アクセス

公共交通機関利用率 40% + 周辺駐車場3000台

1試合平均入場者数：21,000人 試合終了後、8分～10分でハケる



最寄駅からのアクセスが容易・平坦な道



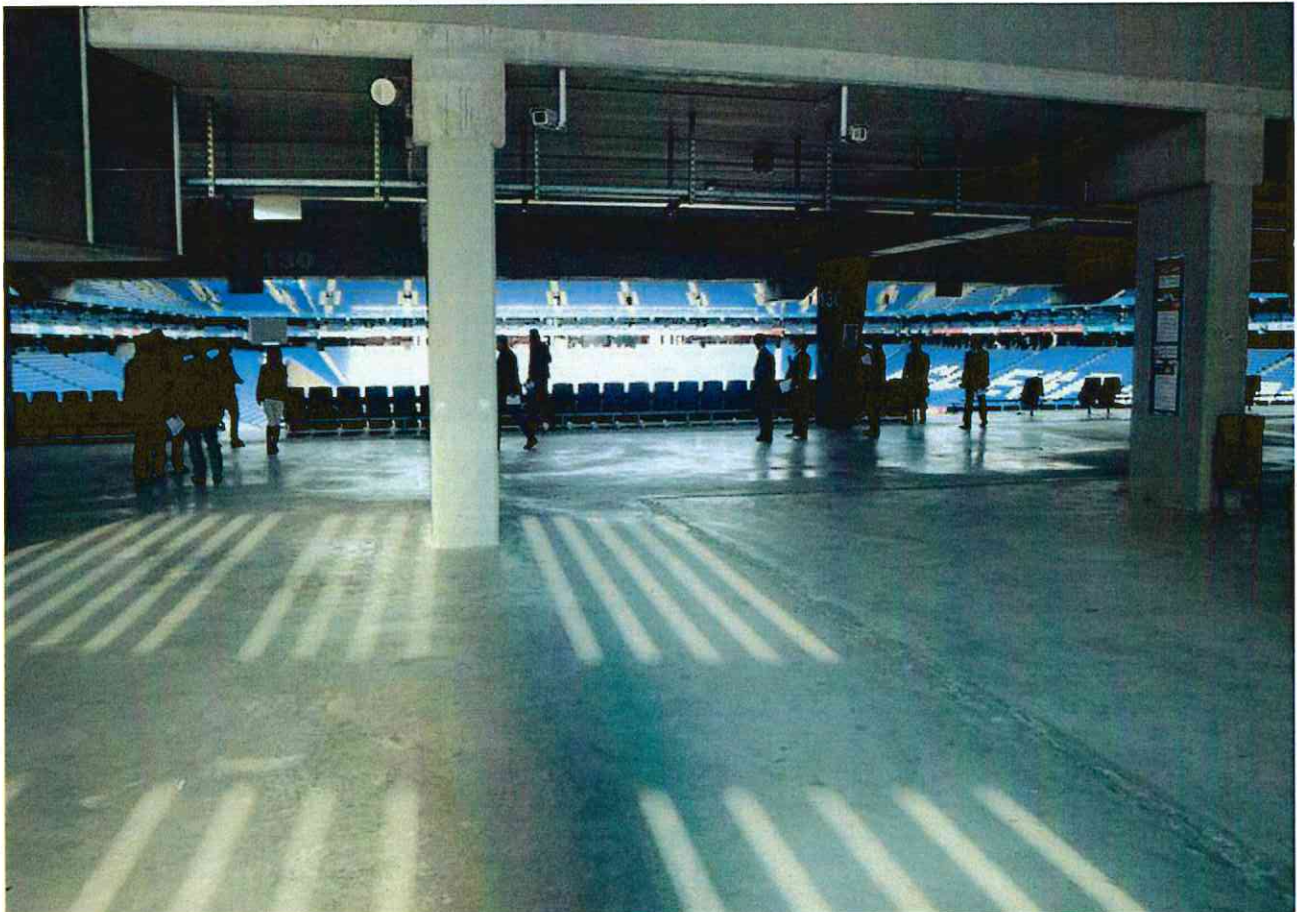
大きく広いスロープを登り、そのままコンコース・入場ゲートへ



スペイン1部・2部では、リーグが全クラブに、ターンスタイルの設置を行い、来場管理をしている。
非常時には、ボタン1つでターンテーブルが下がる仕組み。
非常時には、来場者が5分で退場できるスタジアムアクセス。



入場ゲート・ターンテーブルを抜け、広い場内コンコース・座席へ





平坦で広い(約8m)コンコース



車イス 191席



テレビカメラスペース(サイド)

TVカメラ

車イススペース
&介添者席



VIP席

(専用のエレベータで、そのままVIP席へ)



ラジオ

テーブル付き記者席

TVカメラ

記者会見場

100席 WIFIあり、声の通りの良さを考慮した構造となっている

ミックスゾーン(取材エリア)
選手ロッカールームから、選手バスへ乗り込むまでの導線上



VIP 271席、スカイボックス36室、記者席 133席

4つのスタンドをビジネスシート 1200席が囲む
 <ビジネスシート1部屋 1年間契約> ※1ユーロ140円で換算
 ゴール裏 3万ユーロ(420万円)
 サイド 5万ユーロ(700万円)
 中央 8万ユーロ(1120万円)



RCDE HOSPITALITY
President Club



RCDE HOSPITALITY
Corporate Club



52のVIPルームと5つのホスピタリティーエリア

President Club: 400人収容

Executive Club: 350人収容

Corporate Club: 300/300/450人収容(3エリア)

The Stadium Business Awards 2010 Venue of the Year 受賞

国際親善試合や国際会議、企業のミーティング、企業CM撮影、映画の撮影、
スポンサー企業のイベントやパーティー、コンサートなど、年間で試合日以外に100のイベントを開催し、
スタジアムの稼働率を上げている。
また、スタジアムがお金を生み出す戦略(スキーム)をメキシコや北アフリカといった他国へ売り、
コンサルティングも行っている。



エスパニョール(スペイン)のヒアリングより

- ◆2002年に、電車で市内中心部から30分の場所に土地を購入した
(市役所・政府の行政機関の協力が得られる一番安価な土地)
- ◆理想は、交通アクセスの良い市内中心部だが、土地がなかった
- ◆公共交通機関での交通アクセスが最も重要
- ◆身の丈にあった収容人数を決定することが重要
- ◆365日、誰かに使ってもらうことを常に考えている
- ◆スタジアムは、30年・40年後にどうなっているか、
将来へのフレキシビリティも併せて考えておくことが必要



FCバーゼル(スイス)

ホームスタジアム	ザクト・ヤコブ・パルク (St.Jakob Parc)
所有者	Genossenschaft Stadion St. Jakob-Park (GFS) <u>ザクト・ヤコブ・パルク共同組合</u>
管理会社	Basel United AG ※GFS 100%出資
完成	2001年3月15日
建設費	2億2,000万スイスフラン(154億円) ※2001年3月 1スイスフラン=70円
施設概要	収容人数 38,512人

複合施設

- ・メインスタンド1階、地下1階に「ザクトヤコブ・パルク・ショッピングセンター」50店舗
- ・メインスタンド上階に高齢者向けマンション「ターティアナムTERTIANUM Residenz St. Jakob-Park」(全107室)併設
- ・メインスタンド2階にスポーツバー Hattricksと、レストランUNOを併設
- ・ザクトヤコブ・タワー「St.Jakob Turm」高さ71m、地上16階、地下2階隣接
- ・地下駐車場(有料)680台、および200m南に1465台の駐車場あり

概要

1954年ワールドカップ・スイス大会の舞台として建てられた「ザクトヤコブ・スタジアム」(51,500人収容)を1998年に取り壊し、全面建て替えを行ったスイス初の複合スタジアム。UEFAカップウィナーズカップ決勝を4回、欧州選手権EURO2008準決勝の会場としても使用された。UEFA「4つ星スタジアム」(UEFAエリートスタジアム)。

防寒、ピッチ通風対策のための開閉式外壁が特徴。
市電14番「St.Jakob」駅前 スイス国鉄「St.Jakob」駅横

ザクト・ヤコブ・パルク 38,512人収容⇒EURO では36,000人



メインスタンド1F、地下1Fにショッピングセンター50店舗
メインスタンド上階、高齢者向けマンション 107室
スポーツバー、レストラン、グッズショップ

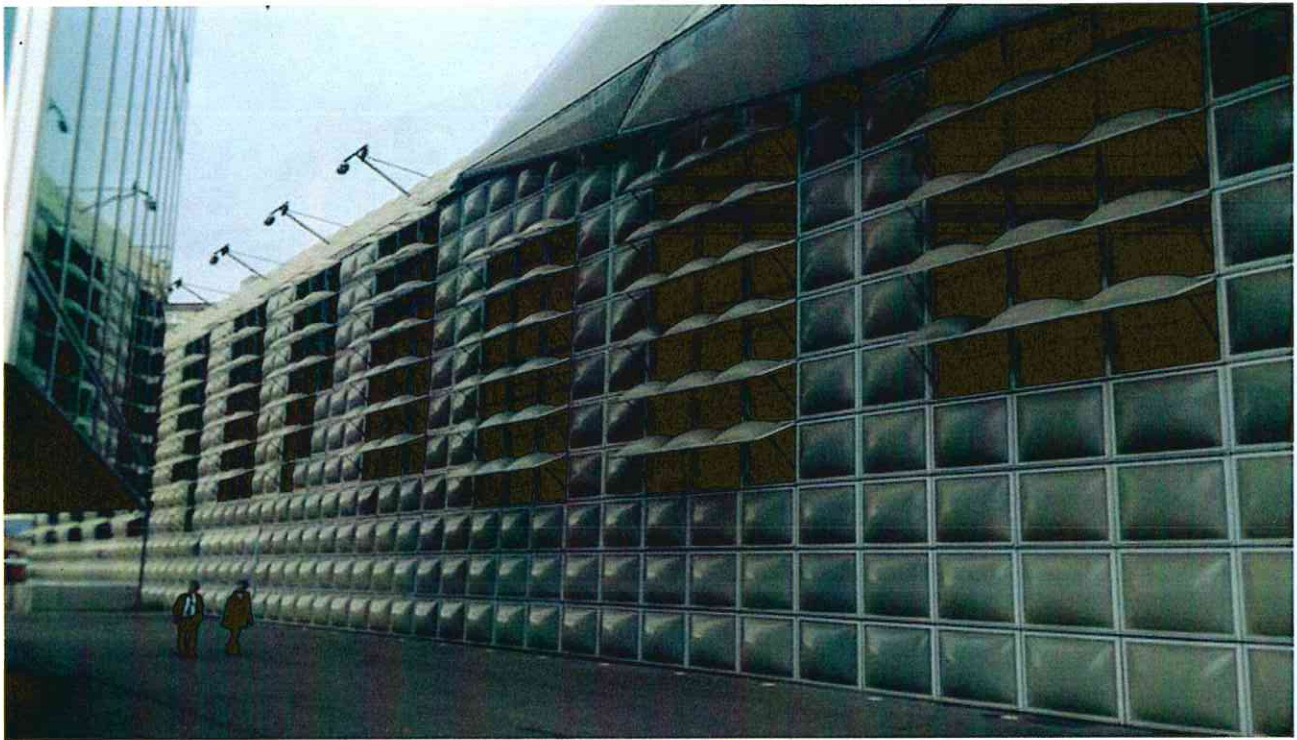


スタジアム管理会社:バーゼルユナイテッド(BU)
FCバーゼルは、会場使用権利も含めて、年間約4億円をBUに支払う
いわゆる指定管理をとっている。会議やパーティーといった
試合日以外のスタジアム使用料はFCバーゼルの収入となる



ホーム側ゴール裏は、立見席(装飾は、サポーターが実施した)
霜で芝が凍らないように、ピッチ下には、ヒーティングが入っている

防寒、芝生の養生対策のため、外壁が開閉式



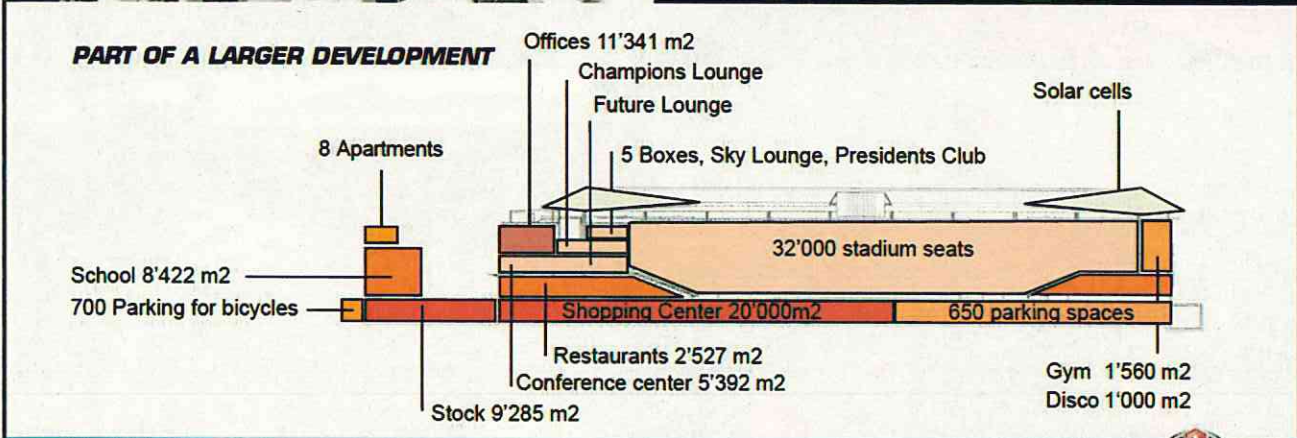
スタッド・ド・スイス(スイス) 32,000人収容／EURO2008開催
世界で最もモダンな複合型スタジアム

2005年に完成／建設費301億円(内、スタジアム自体は約60.2億円)
6社の銀行や保険会社の投資とスイスtotoからの助成

スタジアム前にトリム駅

同時に道(軌道)の上を路線バスが走る。1つの場所で電車・バスが利用できる。街全体に公共交通機関が発達。

スイスのほとんどのスタジアムでは、「チケット+公共交通機関試合日無料」のようなコンビチケットを販売しており、スタッド・ド・スイスでは、65%から70%の方が公共交通機関で来場される

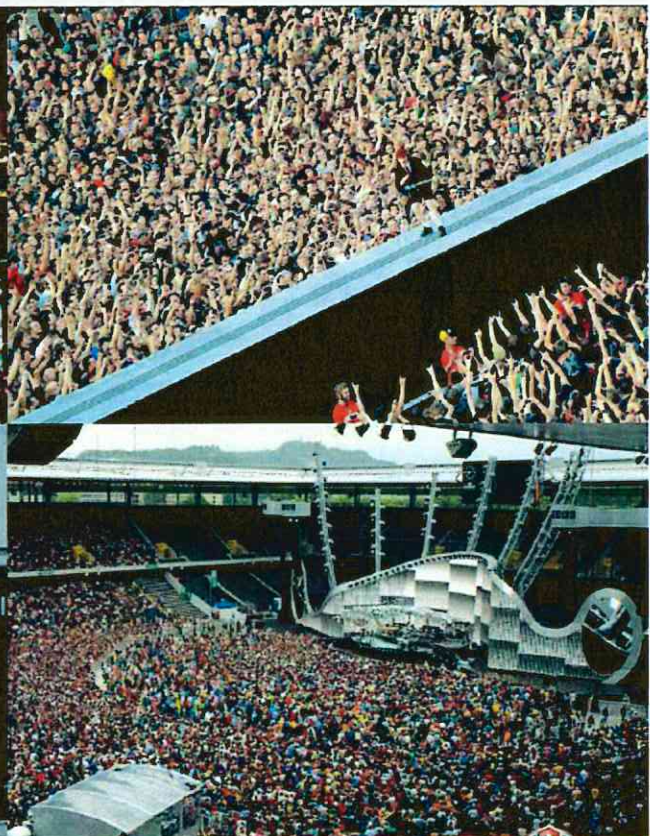
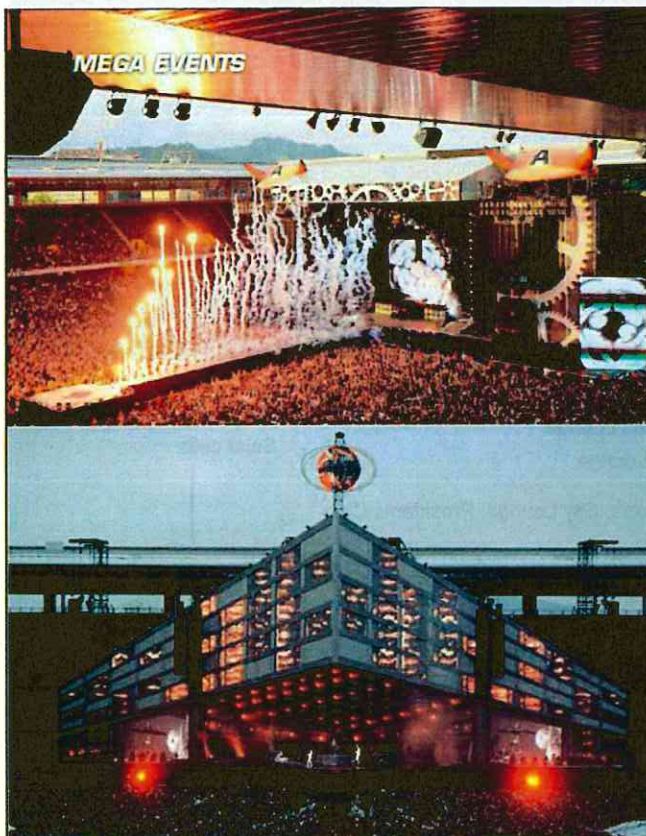


1954年のスタジアムを全面建て替え

屋根上に京セラ製太陽パネル7000枚設置／太陽光学習センターあり
ショッピングセンター、レストラン、会議室、スポーツジム等、専門学校が併設

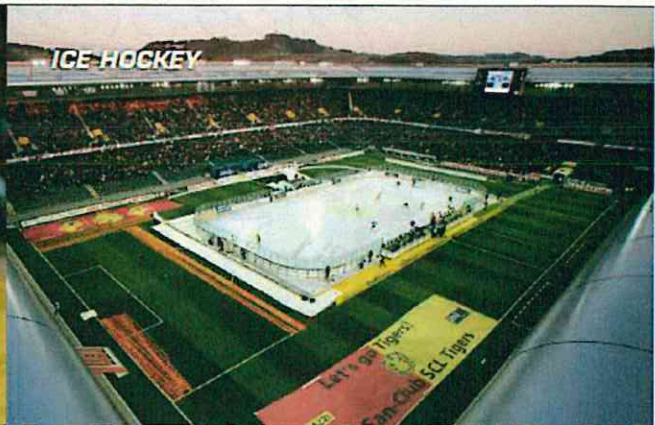


ほぼ2年に1回は、ヨーロッパ選手権やナショナルチームの大会、親善試合、著名な歌手のコンサート開催などのメガイベントでの年間使用回数は10回。ホームクラブであるBSCヤングボーイズの試合を含むスタンダードのイベントで18回使用。小さなイベントで年間1800回使用





NATIONAL TEAM



ICE HOCKEY



BOXING

17 - STADE DE SUISSE - THE SWISS NATIONAL STADIUM



PRODUCT PRESENTATIONS (MEDIA CENTER)



CONFÉRENCING (FUTURE LOUNGE)



ENTERTAINMENT (CHAMPIONS LOUNGE)



LEISURE ("QUARTIERPLATZ")

19 - STADE DE SUISSE - THE SWISS NATIONAL STADIUM



アストンヴィラ(イングランド)1874年創設
1888年に始まった最初のフットボールリーグに参加した名門クラブ
ヴィラパーク 42,584人収容
1897年から使用されている欧州で最も古い歴史を誇るスタジアム



アストンヴィラ(イングランド)クラブカラーで統一されたスタンド
2006年にクラブカラーである「水色」「エンジ」の統一化を図った
細部に気を配る雰囲気作り・統一感=ホーム(我が家)

クラブラウンジ・レストランの設置場所は、スタンドの中央が良い
VIPは、ピッチ中央からの観戦を望む



試合日に役員(VIP)が使用する最上級ラウンジ
試合日以外の週末は、VMFという名のレストランとして使用
バーミンガム地域700のレストランのなかで、No.1
地元の経済的に苦しい学生を教育目的で採用し、将来設計を支援

ホルトスイートと呼ばれるラウンジ(スタジアム内で最も広いホール)
試合当日は、シーズンパスホルダーが、試合開始3時間前から、
4ポンド支払えば飲食できる(利用者:650人/試合)
例:ピラの試合が15:00KOであれば、試合前と試合後に
ビールを飲みながら他チームの試合も楽しめる
試合日以外は、結婚式等にレンタルで貸出し。そのため壁は白い。



最前列の座席からの視点
座席を若干後ろに傾斜させて見やすく



VIP席=レザーシート



選手控室(ホーム=広い・装飾、アウェイ=狭い・最低限の設備・装飾)



選手入場入口 クラブカラーと輝かしいクラブ史で相手を圧倒

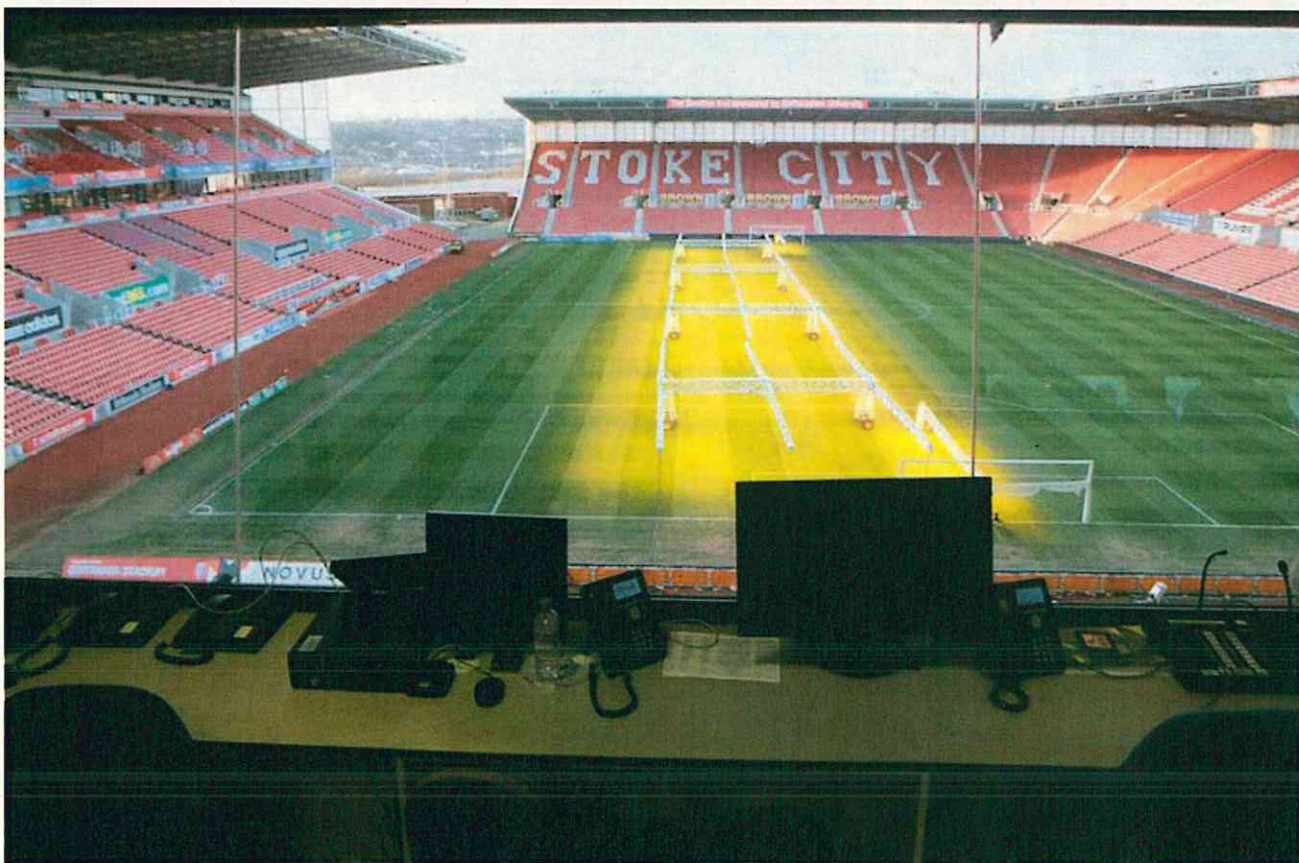


ホッフェンハイム(ドイツ)

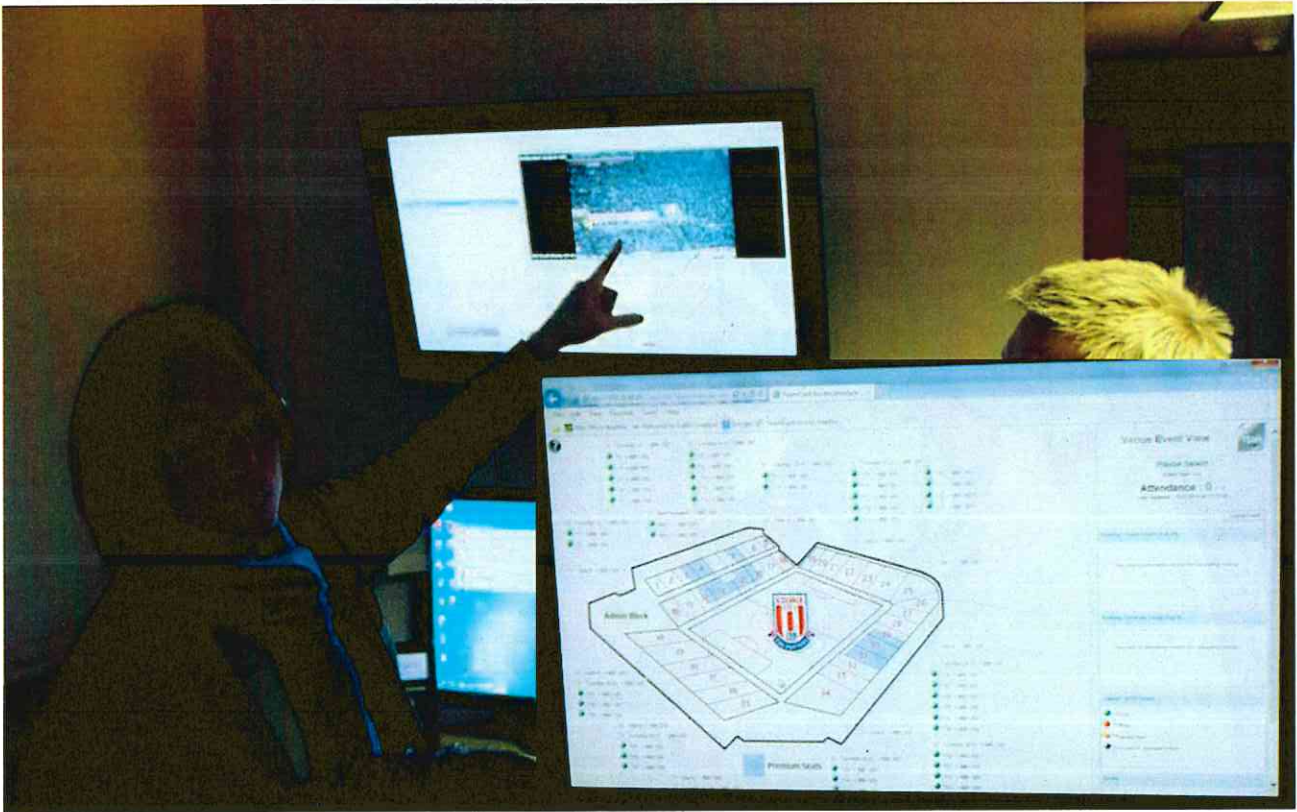
事前にプリペイドカードを購入し、飲食売店・グッズ売店で使用できる
お釣りのやりとりがないので、お客様の回転が速い
デジタルで売り上げ管理、在庫管理ができる



ストーク(イングランド) セキュリティコントロールルーム
アウェイ席スタンドの真上に位置し、ガラス越しに監視されている感じ



セキュリティコントロールルーム
高精度デジタルカメラをスタジアムに設置、観客を特定できる
デジタルでリアルタイムに、来場管理



ミュージアムの設置
スタジアムツアー（試合日以外の集客・観光客の誘致・お土産）



体験型の記念撮影

ツアーの出口は、必ずショップ



マインツ(ドイツ)

ホームスタジアム コファス・アレナ(Coface Arena)

コファスはフランス取引信用保険会社
所有者 マインツ市不動産管理公社 100%マインツ市出資
管理は、クラブ(1.FSVマインツ05)
完成 2011年7月3日
建設費 6,000万ユーロ (70億2000万円) ※2011年7月 1ユーロ=117円
施設概要 34,000人収容(椅子席20,000席、立ち見席14,400席)
国際試合では27,000人収容

1929年に建てられ、改修を繰り返していた旧スタジアム(20,300人収容)に代わり、
2011年7月に新設。

旧スタジアムから約3km街の中心部に近い立地に建設された。

すり鉢式に掘り下げた構造(芝の育成に難あり)

4つの独立したスタンドはイングランド風。

最前列はピッチと同レベル。フランスの取引信用保険会社コファスが命名権取得。
4つのスタンド各々にもネーミングライツがついている。今年6月6日、ドイツ代表がブラジル大会に向かう前日、アルメニア代表と壮行試合が開催される。



マインツ(ドイツ)

ホームスタジアム コファス・アレナ(Coface Arena)

コファスはフランス取引信用保険会社

<主な仕様>

記者席 160席、メディアルーム 800㎡、車いす席134席。

スカイボックス 35室(650席)

ビジネスシート 2,000席 ビジネスクラブは2900㎡

レストラン、ファンショップ、託児室を複合。

チーム更衣室(Home) 340㎡、(Away) 190㎡

ファンショップ 165㎡

マインツ中央駅からバス約10分。

当日のチケットを持っていればバス代無料。駐車場2,000台

ナイトゲームの際は赤くライトアップされる。



Bruchwegstadion - facts

Mainz 05
"old" stadium

old stadium: „Bruchwegstadion“

- capacity 20.300
- standing 9.900
- seats 10.400
- roofed 18.700
- business seats 1.500
- sky boxes 11
- scoreboard 1
- wheel chair seats 65
- car parking ~500



© Christopher Blümlein

スタジアムを新設する5年前より、常にチケットが完売状態
住宅街の中にあるスタジアム



Mainz 05
"old" stadium
strategic plans

Why a new stadium?

- supply ↔ demand
 - capacity 20.300 ↔ 25.000 to 45.000
 - sky boxes 11 ↔ ~35
 - business seats 1.400 ↔ 2.500
 - parking 500 ↔ ~2.500 Parkplätze
 - sponsoring 6,5 Mio. € (Season 2006/07) ↔ ???
 - secondary distribution
 - better infrastruktur
- example: ticketing income
 - 1. FSV Mainz 05: ~ 4 Mio. € / Saison
 - FC Bayern München: ~ 2 Mio. € / match
 - Eintracht Frankfurt: ~ 1. Mio. € / match
 - difference: ~13 Mio. / season (MZ ↔ F)



Bruchwegstadion



© Christopher Blümlein



Strategic plans

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans

What happens in a stadium?

- football
 - league matches
 - German football cup
 - friendly matches
 - international matches
- Events
 - Business-Meetings
 - parties
- sonstiges
 - catering (restaurants, bistros, ...)
 - commercial (offices, retailing, medical offices, ...)
 - adventure (museum, fan shop, tours, ...)
 - social rooms (mostly for the fans)

© Christopher Blümlein



Pictures of Coface Arena

シンプルなコンセプト=4つのスタンドと1つのフィールド
旧ホームスタジアムの雰囲気を残す=チームカラーに彩られたホームスタジアム

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site
bidding competition
construction plans
changeover
pictures



© Christopher Blümlein

• Financing model

Herkunft	in Mio. €	application
GVG / City of Mainz	32,5	stadium
Mainz 05	7,5	stadium
City & State	5	additional construction costs
City & State	15	infrastruktüre

- GVG = builder-owner
- Mainz 05 is renter until 32,5 Mio. € plus interest rate is redeemed
- Leasing rate → 3,3 Mio. € in BL → 2,3 Mio. € in 2nd BL

<スタジアム新設候補地の選定について>
候補地は、市内・郊外合わせて15ヶ所あったが、土地の買い取りのできる郊外の場合になった。6000台分の駐車スペースを予定しているが、土地買い取りの問題で1100台分しかできていない
マインツ中央駅からバスで約10分
当日のチケットを持っていればバス代無料





Masterplan

＜マスタープランを描いた後に、建設業者をコンペで決定した＞

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site



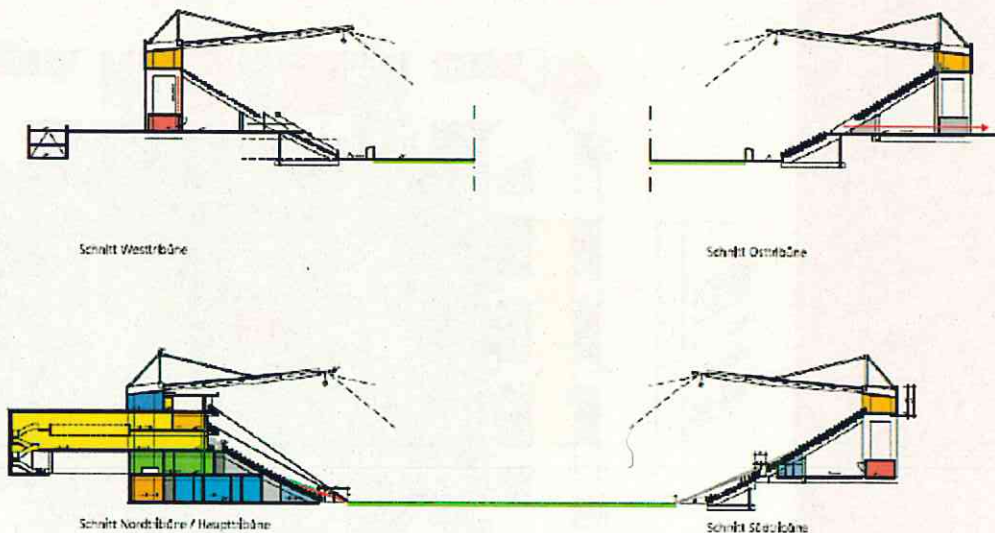
© Christopher Blümlein



Plans of Coface Arena

(建設コストを下げるために) すり鉢式に5.5m掘り下げた構造
屋根は透明で太陽光が入り、スタジアムの角は風が入る構造
しかし、芝の育成には難あり

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site
bidding competition
construction plans

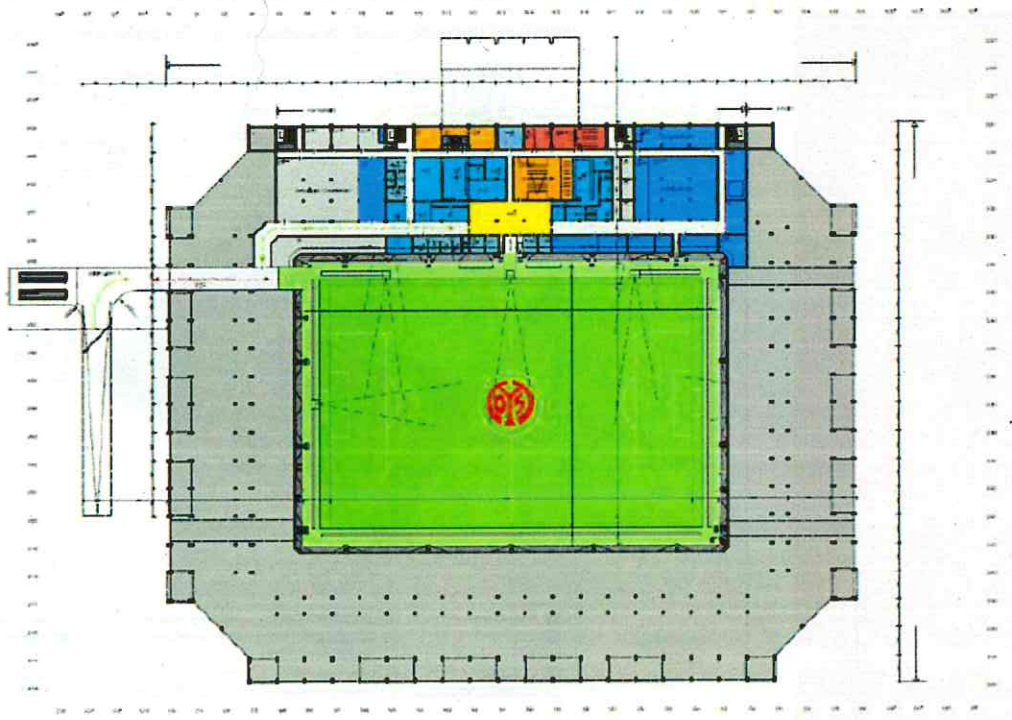


ほぼ階段なしでスタンドにアプローチできる構造
建設コストが安い、掃除が簡単



Plans of Coface Arena -1

- Mainz 05
- "old" stadium
- strategic plans
- namingright
- financing
- finding a right site
- bidding competition
- construction plans

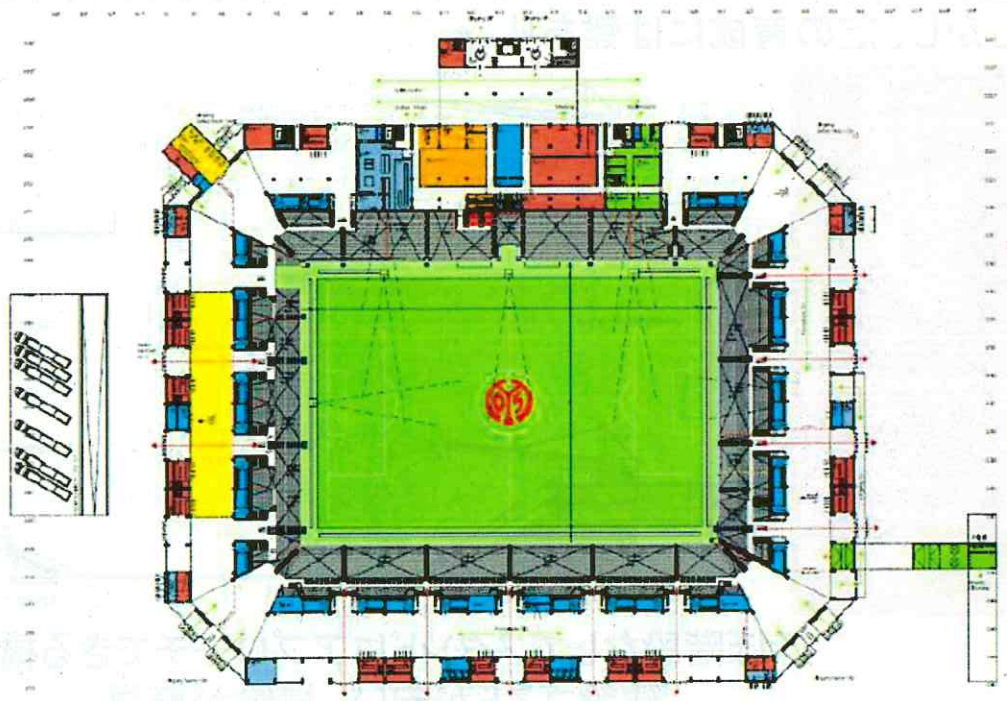


© Christopher Blümlein



Plans of Coface Arena 0

- Mainz 05
- "old" stadium
- strategic plans
- namingright
- financing
- finding a right site
- bidding competition
- construction plans

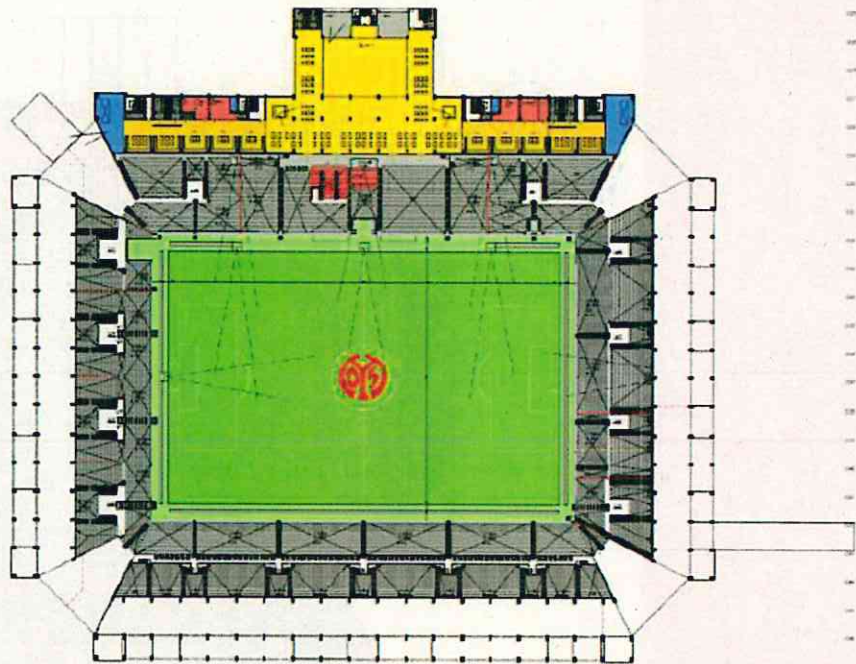


© Christopher Blümlein



Plans of Coface Arena +1

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site
bidding competition
construction plans

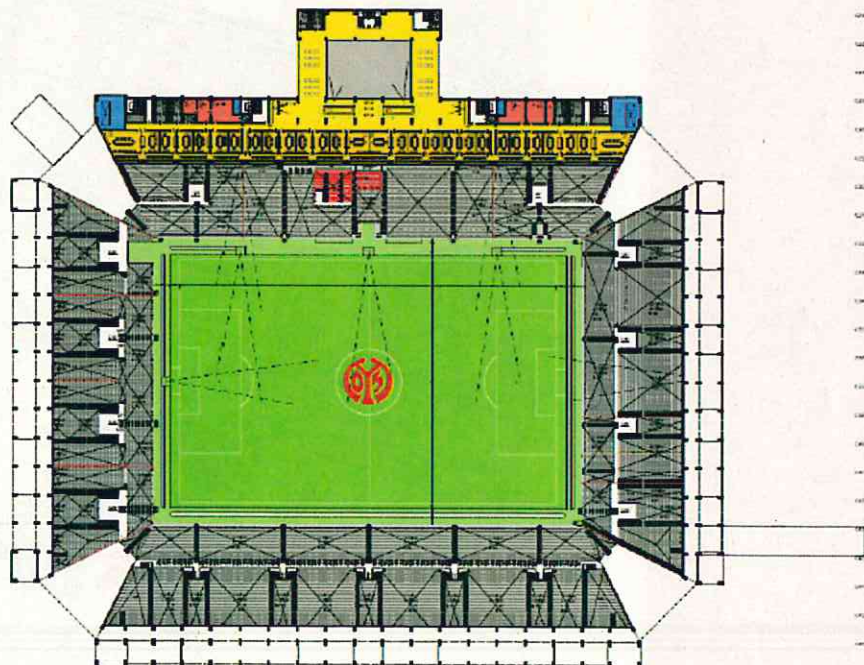


© Christopher Blümlein



Plans of Coface Arena +2

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site
bidding competition
construction plans

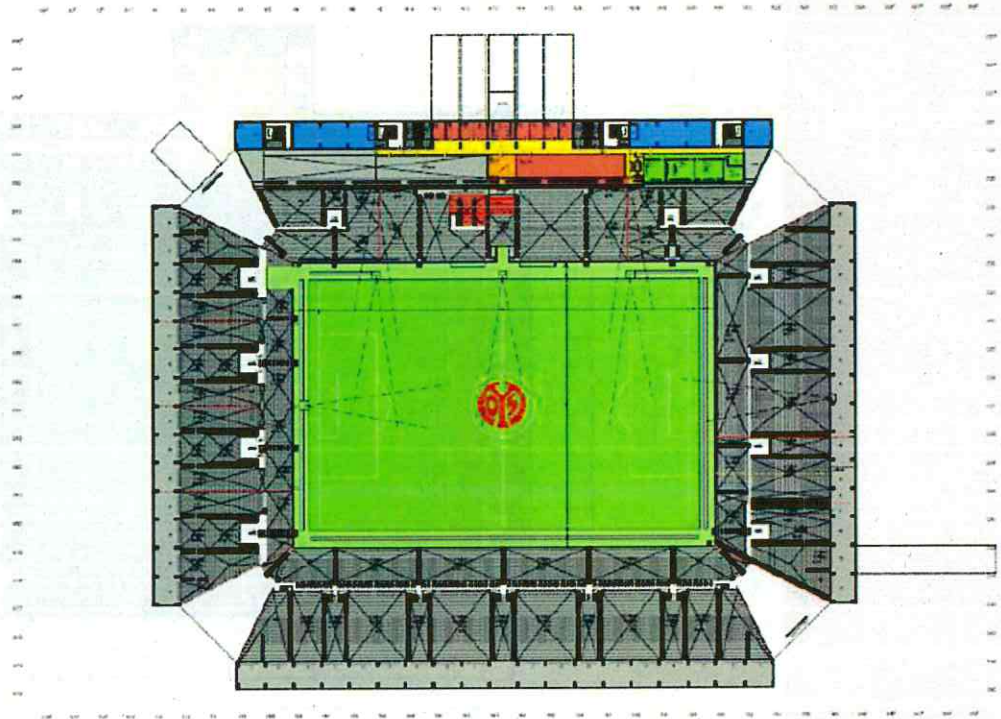


© Christopher Blümlein



Plans of Coface Arena +3

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site
bidding competition
construction plans

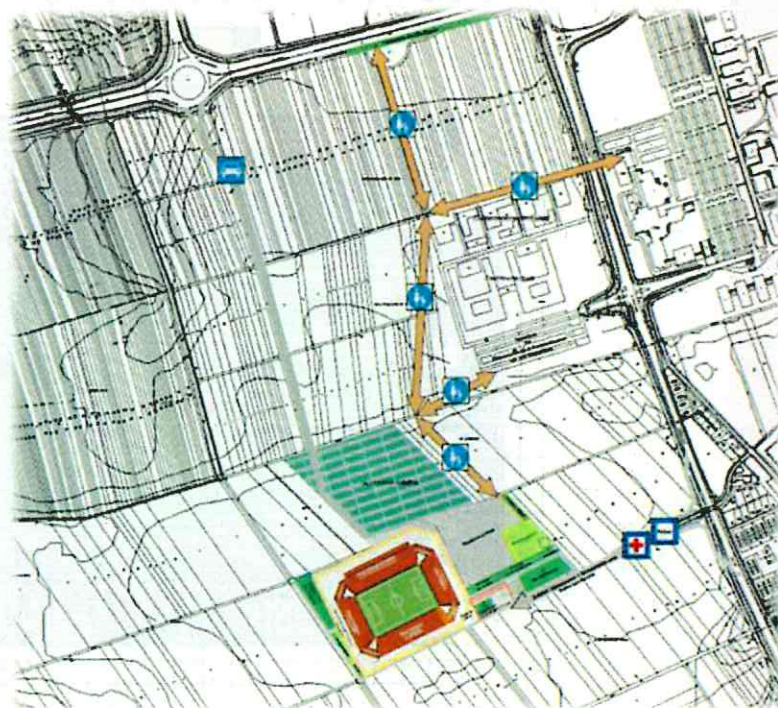


© Christopher Blümlein



Plans of Coface Arena

Mainz 05
"old" stadium
strategic plans
namingright
financing
finding a right site
bidding competition
construction plans



© Christopher Blümlein



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blümlein



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blümlein



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blümlein



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blümlein

ビジネスエリアの試合日以外の使用は、年間200回程度
 屋根にはソーラーパネルを設置
 太陽光→スポンサーのエネルギー会社に販売→スタジアムで使用
 屋根に費用をかけない(200万ユーロ:約2.34億円)

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blümlein



Pictures of Coface Arena

Maint 08
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blumkin



Pictures of Coface Arena

Maint 08
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blumkin



Pictures of Coface Arena

Maint 08
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blumkin



Pictures of Coface Arena

Maint 08
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blumkin



Pictures of Coface Arena

Maint 08
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Blumkin





Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Hünken



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Hünken



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Hünken



Pictures of Coface Arena

Mainz 05
 "old" stadium
 strategic plans
 namingright
 financing
 finding a right site
 bidding competition
 construction plans
 changeover
 pictures



© Christopher Hünken



選手バスの入・出、TV機材搬入口、救急車両待機

記者席



スタジアムDJ

記者席 (TV・ラジオ30席 / ペン120席)



LEDビジョン (対角に2機)

アウェイサポーターのセキュリティコントロール

参考: 合計30台のカメラでスタジアム内外を監視

通常試合では、254名の警備員+警察

近郊チームとの対戦であれば、警察を含め1000人規模の警備体制

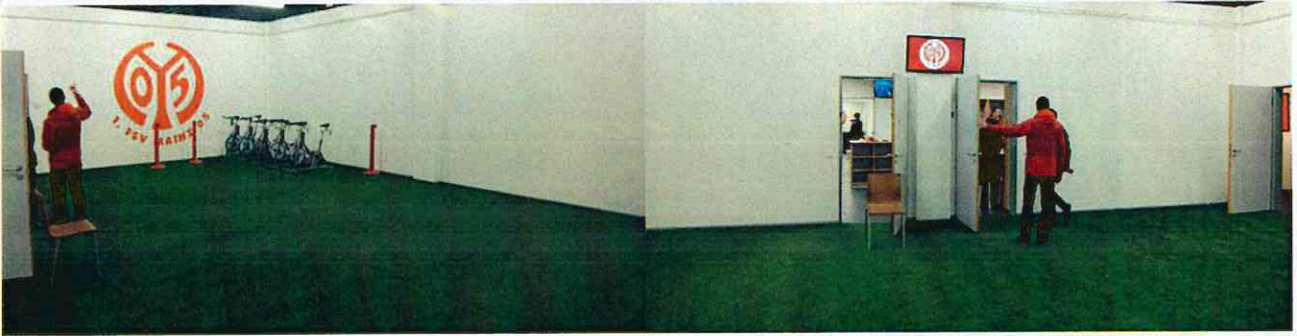


試合後、ミックスゾーン(取材エリア)

審判控室
女性の審判が増えることを見越して、スペースを広くとっている
隣にシャワーを複数設置



ホームチーム 室内ウォーミングアップエリア
ロッカールームと直接つながっている構造



ロッカールーム
ホーム340㎡、アウェイ190㎡

ミーティングルーム
ハーフタイムに試合映像・見たいシーンを投影可能



記者会見室





マインツ所属(日本代表)岡崎選手コメント

「ドイツのスタジアムでは、スタンドからピッチまでの距離が近いので、サポーターの後押しを感じて、自然とモチベーションが上がります。

マインツは小さなスタジアムだけど、良いものがいっぱい詰まっているスタジアムだと思います。

子供たちがこの場所でプレーしたい、憧れるスタジアム。ドイツと日本では、国による環境の違いがあるかも知れませんが、週末はサッカーが中心となってスポーツで盛り上がる、みんながスポーツを楽しめるように、Jリーグが魅力あるものに変えていって欲しいと思います。」

<マインツ:スタジアムプロジェクトで学んだこと>

◆スタジアム建設前から、良く考えてプランを練ること

(候補地の立地条件、交通アクセス、収容人数、必要な機能と構造、資金調達、建設後のビジネスプラン=試合日以外の活用)

◆専門のアドバイザーを探す

◆事業規模の小さなクラブなので、コスト面をシビアに考えた

◆事業的にクラブが良い状況にあったことも建設を後押しした

◆クラブにとって何が本当に必要か、消去法で決めていった

◆プランから完成まで、クラブが関わった

(建設状況をホームページで公開、お知らせした)

◆建設までのタイムスケジュールとチームワーク

◆行政(市・州)との連携を上手にとること

